

## IELTS バンドスコアと採点システム

ー IELTS は幅のある BAND スコアー

IELTS は正解した数に応じて点数が出るわけではありません。スコアに幅をもたせた BAND SCORE という方式で評価されます。

★ 1.0～9.0 の中で 0.5 刻みのバンドが設定されています。

| BAND | レベル                                      | 英語能力   |
|------|--|--|
| 9.0  | Expert user<br>エキスパート・ユーザー               | 十分に英語を駆使する能力を有している。適切、正確かつ流暢で、完全な理解力もある。   |
| 8.0  | Very good user<br>非常に優秀なユーザー             | 時折、非体系的な不正確さや不適切さがみられるものの、十分に英語を駆使する能力を有している。慣れない状況においては、誤解が生ずることもありえる。込み入った議論に、うまく対応できる。                      |
| 7.0  | Good user<br>優秀なユーザー                     | 時折、不正確さや不適切さがみられ、また状況によっては誤解が生ずる可能性もあるが、英語を駆使する能力を有している。複雑な言語も概して上手く扱っており、詳細な論理を理解している。                        |
| 6.0  | Competent user<br>有能なユーザー                | 不正確さ、不適切さ、および誤解がいくらか見られるものの、概して効果的に英語を駆使する能力を有している。特に、慣れた状況においては、かなり複雑な言語を使いこなすことができる。                         |
| 5.0  | Modest user<br>中程度のユーザー                  | 部分的に英語を駆使する能力を有しており、大概の状況において全体的な意味をつかむことができる。ただし、多くの間違いを犯すことも予想される。自身の分野においては、基本的なコミュニケーションを行うことができる。         |
| 4.0  | Limited user<br>限定的ユーザー                  | 慣れた状況においてのみ、基本的能力を発揮できる。理解力、表現力の問題が頻繁にみられる。複雑な言語は使用できない。   |
| 3.0  | Extremely<br>Limited user<br>非常に限定的なユーザー | 非常に慣れた状況において、一般的な意味のみを伝え、理解することができる。コミュニケーションが頻繁に途絶える。   |
| 2.0  | Intermittent<br>user<br>一時的なユーザー         | 確実なコミュニケーションを行うことは不可能。慣れた状況下で、その場の必要性に対処するため、極めて基本的な情報を単語の羅列や短い定型句を用いて伝えることしかできない。英語による会話、および文章を理解するのに非常に苦労する。 |
| 1.0  | Non user                                 | いくつかの単語を羅列して用いることしかできず、基本的に英語を使用する能力を有していない。   |

|   |       |           |
|---|-------|-----------|
|   | 非ユーザー |           |
| 0 | 非受験者  | 評価可能な情報なし |

## IELTS オーバーオールスコア (Overall Score)について

IELTS の BAND スコアはリスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの各モジュールごとにスコアが付きまます。その平均点を Overall バンドスコアとして総合英語力を評価します。

例

| リスニング    | リーディング   | ライティング   | スピーキング   | Overall  |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| BAND 6.0 | BAND 5.0 | BAND 5.0 | BAND 6.0 | BAND 5.5 |

### ● IELTS 各セクションごとの採点方法

#### IELTS リスニング・セクション&リーディング・セクション

IELTS のリスニングとリーディング・セクションは 40 問中の正解数をバンドスコアに換算されます。1 問正解で 1 点として 40 点満点でその回の難易度に応じてバンドスコアへの換算が決まります。難易度（換算表）は実際のテストを事前にトライアルすることで決まります。

#### -アカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの換算の違い

リーディングでは同じ正解数でもアカデミック・モジュールの方がジェネラルト・レーニング・モジュールよりも高いバンドが出る傾向があります。アカデミック・モジュールの方が学術的で専門的な用語が使用されており正解率が低く、難易度が高いと判断されるためです。

ジェネラル・トレーニング・モジュールの方が難易度は低いと言えますが、その分、ケアレスミスをするとかなりバンドスコアを下げることとなります。

#### ★ Listening リスニングのスコア換算表の例

| 換算バンドスコア | 40 問の正解数(ロースコア) |
|----------|-----------------|
| 5        | 16              |
| 6        | 23              |
| 7        | 30              |
| 8        | 35              |

★アカデミック・モジュール Reading リーディングのスコア換算表の例

| 換算バンドスコア | 40 問の正解数(ロースコア) |
|----------|-----------------|
| 5        | 15              |
| 6        | 23              |
| 7        | 30              |
| 8        | 35              |

★ジェネラル・トレーニング・モジュール Reading リーディングのスコア換算表の例

| 換算バンドスコア | 40 問の正解数(ロースコア) |
|----------|-----------------|
| 4        | 15              |
| 5        | 23              |
| 6        | 30              |
| 7        | 35              |

## IELTS ライティング・セクション

アカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・ジュールは共に配点は、  
TASK1:TASK2 が 1:2 の割合。つまり TASK2 は TASK1 の 2 倍の配点。

IELTS 認定試験官が下記の 4 つの評価基準に基づいて採点。

- 1、TASK1 の場合…タスクの達成度 (Task Achievement)  
TASK2 の場合…質問に適切にこたえているか (Task Response)
- 2、一貫性とまとまり (Coherence and Cohesion)
- 3、語彙力 (Lexical Resource)
- 4、文法の知識と精度 (Grammatical Range and Accuracy)

さらに 4 つの基準がそれぞれどのくらいのレベルでどのバンドに相当するかの一覧表が公式サイトで公表されています。

録音されたインタビューは IELTS 認定試験官が下記の 4 つの評価基準に基づいて採点されます。

- 1、流暢さと一貫性 (Fluency and Coherence)
- 2、語彙力 (Lexical Resource)
- 3、文法の知識と精度 (Grammatical Range and Accuracy)
- 4、発音 (Pronunciation)

日常の会話よりも文法と発音の正確さを意識して英語を論理的に話す必要があります。